

各会代表者および教育担当者の方へ

愛知県勤労者山岳連盟第 52 期登山学校の実施要項送付とお願い

3月1日に予定されていた愛知県勤労者山岳連盟第52回定期総会は、新型コロナウイルスの拡大状況に鑑みて延期、4月に開かれることになりました。

県連盟の取り組みは、総会前から準備されていたり、例年、同じような時期やスケジュールを踏襲して計画されていたりするものも少なくなく、その中には総会が開かれる前から、広報、周知されている大事な取り組みも含まれています。

しかし、今年に限ってのことですが、3月から4月までの約一カ月間、さまざまな会議が中止、または延期となり、これまで、3月の総会前後を起点にした県連加盟各会、仲間たちへの呼びかけ、周知をおこなって実施していた取り組みのいくつかは、周知・広報する機会がないまま、取り組みの当日を迎える、ということになりかねません。

これまで半世紀近く、県連盟の会員教育を担ってきた登山学校も、そうした県連盟の大事な取り組みのひとつです。

すでに一月の段階で、『労山愛知』の実施要項を掲載し、県連のホームページにも掲出されているところですが、2月の『労山愛知』には掲載されておらず、総会が延期という事態になりましたので、県連盟の仲間たちに周知、広報する機会がほとんどありません。第52期の県連登山学校は、総会が開かれる前の、3月29日に開講を予定していますので、改めて、各会に案内させていただくことにしました。

今一度、実施要項を送付しますので、各会会員にお知らせいただき、多くの仲間が受講できるよう、おとりはからください。

愛知県勤労者山岳連盟第52期登山学校 2020年3月29日から開講

愛知県勤労者山岳連盟第52期登山学校を、下記の2コースで開校します。

マウンテナリング・コースは、山を歩くための生活・行動技術、パーティーとしての基本的な行動や考え方を学び、安全な登山の総合的な力量を身につけます。

クライミング・コースは、登攀具の初歩的な使い方から岩登りの技術、安全についての理解と認識を高めていきます。

登山の基本的な知識・技術を体系的に学び、「連れていってもらおう」登山者ではなく、総合力を身につけた自立した登山者になることをめざします。多くの仲間の受講を呼びかけます。

1 定員 マウンテナリング・コース、クライミング・コース ともに15名

2 応募資格、申し込み方法

資格は特に限定しませんが、学ぶ意欲、体調管理ができること、きちんと歩く力があること。

(実技の前に課題を配布しますので、ロープワークなどは予習のこと)。

労山山岳事故対策基金に10口加入していること。

入校申込書兼推薦書に必要事項を記入し、下記まで申し込んでください。

(必ず所属山岳会の会長が推薦状を記載し、県連へメールで申し込んで下さい)

【申し込み先】 愛知県勤労者山岳連盟 登山学校事務局 aichirousan@gmail.com

3 受講料 各コースとも33,000円(机上講習、実技講習代、テキスト代を含む。実技講習にかかる交通費、装備等は各自別途実費負担) ※クライミング装備をそろえるのにお金がかかります。理論講座を受講してから購入するようにしてください。あわてて買ってしまわないこと。

4 カリキュラム *基本的に、遅刻、欠席は認めません。

【理論講座(マウンテナリング、クライミング共通)】

開 講 日	テーマ ()内は講師	講 習 内 容
2020年 3月29日(日) 8:30~16:30	労山運動の理念 ①登山の動機と意義②組織論 ③遭難事の防止/ ④自然保護 登山の計画~下山まで① 計画書の意味/装備と食糧 (洞井)	開校式を兼ねています。何気なく山に登っている自分をまず見つめてみましょう。登山者として必要な「山に入る姿勢」と「なぜ山に登るか?」を考えます。 また計画書の重要性を通して、自分が所属している山岳会の意味や登山の危険と安全、その防止のための登山の基礎的な知識やルールなど登山の基本について考えます。
3月30日(月)	岩登りの基礎 I (西村)	岩登りに関する考え方、具体的・基礎的な知識、用具の解説、ロープワークについて学びます。
4月6日(月)	岩登りの基礎 II (西村)	岩の登り方・確保の方法についての注意点など、クライミングにおける技術とルール、その実際を理解します。
4月13日(月)	登山の計画~下山まで② 生活・行動技術 (洞井)	山での生活の基本、行動上の注意点、歩き方や危険箇所の判断・通過の仕方などについて学習します。
4月20日(月)	パーティー論・リーダー論 (洞井)	パーティーが安全に登り、確実に下山できるようにリーダーやメンバーが果たすべき役割と責任は?

5月11日(月)	地図の読み方・使い方 (板倉)	地図の実践的な使い方、読み方を学ぶとともに、計画書作成に不可欠な概念図の書き方について学習します。
5月18日(月)	気象Ⅰ (相澤)	天気図と山の天気の基本を学びます。天気予報だけではわからない、気象のあれこれが見えてきます。
5月25日(月)	気象Ⅱ (相澤)	天気図が書けるだけでなく読めることが必要です。天候の予測、次の行動の判断ができるようになるかな？
6月1日(月)	体力・トレーニング論 (安藤)	登山に必要な体力づくりを効果的におこなう方法を学びます。日常的に実践できるようになりましょう。
6月8日(月)	無雪期救助訓練(机上) ※県連遭対部行事(清水)	県連の救助訓練に参加します。山行中に起きた事故を想定した救助の基礎的で実践的な知識と技術を学びます。
6月13日(土)	救急救命法 ※県連遭対部行事(森)	ファーストエイド。山行中のアクシデントや疾病に対処できる実践的な知識・技術を学びます。
6月15日(月)	確保技術講習会(机上) ※県連遭対部行事(三宅)	岩登りや沢登りに不可欠な確保技術。正確な知識と安全な確保とはどのようなものか、を学びます。
6月22日(月)	沢登りの基礎 (岩田)	岩登り、生活・行動技術など総合的な力を要求される沢登り。その装備や技術について学びます。
6月29日(月)	登山の危険と安全対策 (洞井)	山では危険のあることを知り、安全な登山をしていくことは登山者の責任。事故事例を検証し、他に学ぶことで、どうしたら安全な登山ができるかを考えます。

【実技】 M：マウンテンアリングコース、 C：クライミングコース、 MC：両コース共通

実施日程	区分	山域(予定)	備考
4月11-12日(土・日)	MC	南山(豊田)ゲレンデ	テント泊。基本の「き」を学ぶ
4月19日(日)	C M	南山(豊田)ゲレンデ 鈴鹿・烏帽子岳(予定)	いよいよ、岩場で実践 山歩きのおもしろさを実感
5月10日(日)	C	鈴鹿・藤内壁	岩登りの基本を反復しながら確認
5月17日(日)	C	鈴鹿・藤内壁	岩登りの基本を反復しながら確認
5月23-24日(土・日)	M	鈴鹿南部(未定)	幕営・生活技術を習得する
6月14日(日)	MC	鈴鹿・藤内壁周辺	救助訓練 ※県連遭対部行事
6月21日(日)	MC	比良(予定)	確保技術講習会実技 ※県連遭対部行事
6月28日(日)	C	鈴鹿・藤内壁	岩登りの基本に習熟する
7月4-5日(土・日)	MC	鈴鹿周辺(予定)	1日目読図、2日目沢登り
8月23日(日)	C M	鈴鹿・藤内壁 中央ア烏帽子岳	研修山行を見据えた実技
8月29-30日(土・日)	M	八ヶ岳	研修山行 ※8月24日(月)打合わせ
9月5-6日(土・日)	C	八ヶ岳・阿弥陀南稜～小同心・中山尾根(予定)	研修山行 ※8月24日(月)打合わせ

登山学校の理論講座は、**労山会員なら誰でも受講可能です。**(一講座500円)

「学びたい」と思う講座をチョイスして聞くことができます。この機会を有効に使いましょう！
有料ですが、なかなか普段、会では学べない内容の講座がラインナップです。

講座当日、19時半までに県連事務所へどうぞ！ 県連登山学校のテキストも、希望者には頒布(1000円)しています。当日の講師の補足資料(受講者に配布)とあわせて利用してください。

